

「アクティブ・ラーニング」って？

青年部企画「新しい学習スタイルの研究会」in 北九州のご案内です。

ちまたで騒がれていて、なんだか一人歩きしている感じのする「アクティブ・ラーニング」

「知識の伝達・注入を中心とした授業」からの脱却

が呼びかけられていますが、これは今に始まったことではありません。

「学生が主体的に問題を発見し解を見出していく能動的学習」と中教審答申で言われているのが「アクティブ・ラーニング」

グループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク...何度も聞いてきた言葉ですね。

やったことあるけど単なる話し合い、ディベートは難しくて面倒、グループワークやるくらいなら座学でやったほうが効果的

と置いていっちゃう方も多いのでは。

困ったことには、今回の「アクティブ・ラーニング」が、「高校教育を変革するキーワード」として使われていること。

アクティブ・ラーニングの延長線上に、今度の大幅な大学入試の改革も行われる可能性が高いこと、もあります。

「何を学んだか」=「学力体系」から「何が出来るか」=「能力体系」へのウェイトが高まっている中、

では「どのように教えるか」という「方法論」の確立を突きつけてきたのが、この「アクティブ・ラーニング」です。

昨年福岡市で行ってご好評いただいた実践を、北九州でも開催します。今回は「コンセンサス実習」という話し合い活動を体験してもらいます。

連盟ならではの方法論が提示され、その日のうちに身につけられて、次の日からでも授業に取り入れることが出来る研究会です。

多くの方のご参加をお待ちしています。青年部企画 第1回「新しい学習スタイルの研究会」in 北九州

Date：2月12日（金）18時30分～ （「北九州東支部の後期総会・研修会」で行います）

Place：小倉リーセントホテル

Facilitator：山内省二（嘉穂高校）～ ↑ なことばかり20年やってきた連盟員です。

Contents：①グループの作り方、班長の選び方、グループ・ディスカッションの運び方等、「コンセンサス実習」を通して

②覚えたり、復習したり、といった知識習得の方法を「ゲーム形式」で

③小論文やエントリーシートの指導、面接指導を「ロジック・ツリー」で 等々5回ほど実施する予定です。

